

## 2020.09.27「聖書預言・アップデート/何が真実か？」

[https://www.youtube.com/watch?v=4\\_OLASpWVbl&t=3879s](https://www.youtube.com/watch?v=4_OLASpWVbl&t=3879s)

『何が真実か?』おはようございます。ようこそ。毎週日曜日の朝は、「聖書預言・アップデート」です。私たちは、2つの礼拝を行っており、第一礼拝は、「聖書預言」です。第二礼拝は、神の御言葉、「聖書の学び」で、聖書を書ごと、章ごと、節ごとに学んでいきます。皆さん可能であれば、ハワイ時間の午前11時15分からご参加することをお勧めします。現在、「第一テモテへの手紙」を学んでいます。今日は、「お互いどのように接するか」という厳しい話題に取り組むつもりです。さらに重要なのは、私たちが「互いにどのように接するか」が、主の御目にどれほど深刻に映っているのかです。ソーシャルメディア上での、他者への接し方についても触れたいと思います。ですから、ソーシャルメディアに取り組む中で、皆さん間違いなく、私たちと一緒にソーシャルメディアに参加したいと思うでしょう。繰り返しますが、午前11時15分からです。また、私たちが、「jdfarag.org」という新しいウェブサイトの立ち上げプロセス中であることをお知らせしたいと思います。実はこれは、非常に頻繁に聞かれる質問に繋がっていて、それは、「オンラインメンバーになる方法は?」です。それは本当に簡単です。あなたがこれをご覧になっているなら、あなたは既にオンラインメンバーです。それほど簡単なのです。あなたがすべきことは何もありません。何かを下さる必要もありません。気にされないことを願いますが、オンラインでご覧なら、私たちは、あなたをオンラインメンバーとして見ています。しかし皆さんには、このウェブサイト上で登録していただく必要があります。画面上で表示されている箇所に、皆さんのメールを入力していただくと、通知を受け取ることができます。(ちょっと画面を戻してくれますか?)メールアドレスを入力する箇所があります。教会のウェブサイトにもメールを下さっても、登録はされません。「jdfarag.org」に入りメールアドレスを入力して送信くださると、送信済みと表示され、(登録)確認通知は届きませんが、あなたは登録済となり、通知を受け取るようになります。そして、最新の情報をお届けします。本当に、これに関してご忍耐に感謝します。私たちが前進できるよう、皆さんのお祈りをお願いしたいと思います。私たちは、主のみこころであれば、また、主の来臨がまだなのであれば、このサイトが「預言アップ」だけでなく、さらに多くの情報を得るための”Go To Place”=場所になることを願っています。みこころであれば、このサイトを使って、もっと対話的になることを望んでいます。あらゆることが進む速さ同様、リアルタイムでもっとアップデートを提供したいと思います。本当に物事の動きが速いです。本題の前に、もう一つだけあります。ご忍耐に感謝します。私は、謙虚になる必要がありますが、ここ地元の教会にお願いしたように、オンライン教会の皆さんにも、祈りをお願いしたいのです。この教会のためだけでなく、私個人のためにもです。どうか祈ってください。私の肉体的な健康と、精神的な強さ、そして、神に召されたことをやり続ける大胆さを与えられるようにです。使徒パウロのことを考えてみると、彼は、よく祈りを求めています。彼は、謙虚でした。私は、おごり高ぶるあまり、祈りが必要であることを認めないようなことは決してしたくありません。私のために祈ってくださるよう、心からお願いします。私は、沢山の方からとても励まされるメールをいただき、大変感謝しています。しかし、それ以上に必要なのは、私のために祈って欲しいということです。具体的に、肉体的な健康、霊的な強さと守り、そして、神がこのような時代に、私に召されたことを継続して行うための大胆さです。さて、始めましょう。今日のアップデートでは、「本物が偽物か、事実か作り話か、真か偽かを、いかに見分けることができるのか」という疑問に答えていきたいと思っています。発信されていることが、本当なのかどうかを見極め、知ることが難しくなっていることに共感していただけたと思います。これで十分悪くないとでも言うように、吟味しようとする試み、そして事実確認していると豪語するいわゆる”ファクトチェッカー”と呼ばれる人々は、人々を更に困惑させ、混乱させます。誤報と矛盾に満ちた膨大な情報ほど、真実かの認証、検証するのを事実上不可能にしているものはありません。情報源の正確性を徹底的に調べたつもりでも、それは、インターネットから消されたり、オンライン検索の奥深く埋もれたりしてしまいます。

私は、この2週間で調べていたことが4つあります。私は文字通り、何時間も時間をかけて これらの信憑性を調査・検証しようとしています。本当に興味深いのは、例えるなら 私はそこに犯罪科学的な証拠を見ます。ネット上で、指紋とDNAのようなものがあつたのに、それがもうそこにありません。そして、皆さんがネット検索するとき、特にGoogleで、どれほど深くまで探られるかはわかりませんが、他の検索エンジンもありますが、それは、問題ではありません。最初のページに…1 ページ目以降には行かない人がほとんどですが、「ここ（1 ページ目）にないのなら…」と言って。ちなみに、最初のページに掲載されているのには理由があります。しかし10、20、30 ページに進み、まだそこにありません。以前そこにありましたが、もうそこにはありません。ですから私は、これについて主にお聞きしてきました。混乱の作者からの混乱は、実は全て良いことであり、神がなさる事ですらあるのではないか という結論に達しました。皆さんが、私が完全におかしくなったと思われる前に… そうと思われることは分かっているのでどう繋がるのか説明させてください。私たちが、真実を知らないとき、それは、私たちが真実だと知っていること、すなわち神の真理の御言葉に、私たちを向かわせる という大変必要な効果があります。皆さんが真実を探そうとして、イライラが募り真実を見つけようとして、初めにリサーチしたときよりも、イライラします。情報がたくさん出回っているからです。あちらはこういうし、でも待って、彼らはああ言うし、、、彼はこう言っているが、待って！ 彼らはそう言っている。こちらの方、指差してしまつてごめんなさい。… 平等権利の反則者にならないようにします。では、あなたは誰を信じますか？ なぜなら、彼らが両方とも正しいはずがないのです。どちらかが正しく、どちらかは間違っています。どちらか一方が真で、もう一方が偽です。どちらかが本物で、もう一方は偽物です。この二つは正反対なので、両方が本物であるはずがありません。彼らは正反対のことを言っていて、私はとても混乱します。因みにそれは、サタンの狙い通りです。彼は、混乱の作者ですから。今私たちは、その状態で決断する必要があります。どうしましょうか。「主よ、私はもう 何を信じればいいのか分かりません。」それはほとんどこんな感じです。私がこう描写し、実演するのを お許しください。主が、手を上げられこう仰っているようなものです。「あなたは、何が真実か知らないのですか？」（聖書）「お〜い。私が、真実を知っているのです。」「なぜあなたは、それを見ているのですか？」「なぜあなたは、それを見ているのですか？」「どうして私に目を向けないのですか？」それが、良いことだという理由です。それが、神らしいという理由です。自分の終わりに来て、手を上げ言います。「私はもう、何を信じればいいのか分からない。」そして、主は仰います。「あなたは、私を信じることができるのです。」「あなたは、私の言葉を信じることができます。」「私の言葉が、真実です。」正直に言うと、私は最近 発想転換しています。私が、再び ”ビッグ3” と呼ぶものに関連しています。COVID-19/コロナウイルス、ブラック・ライブス・マター、そして最近のイスラエルとの和平合意。発想転換ということについて、私はこう意味します。世の中で起きているすべてのことを通して 聖句を見るのではなく、まず聖書というレンズを通して 世界で起きていることを見ます。言い換えれば、私は最初に聖書に行き、それから、世界で起きていることをすべて見ます。逆ではありません。誤解しないでください。今の世界で起きていることを見て、こう思うことは 何も悪いことではありません。「なんということ！」「聖書はこれについて何か語っていますよね？」 その通りです！しかし、私が話しているのは、あなたが、世界で起きていることの全てを見て それから、聖書を見るなら、あなたの客観性は歪んで、視界はぼやけます。しかし最初に聖書を読むと、はるかに必要な明確さを得ることができます。そして、はるかに明確な焦点に行きつきます。別の描写をします。どうかお許しください。描写に関して言えば、私の描写の中にはあまり良くないものもあります。もっと良い例えがあれば、提案をお待ちしていますこの後私のところへ来てくださるか、メールでも構いません。皆さんの、より良い例えのご提案を、喜んで検討します。数年前、誰かに言われたのですが、老眼鏡で…若い人たちには、これが何なのか分からないでしょう。しかし、年を取るにつれて、眼球の筋肉が弱くなり、老眼鏡が必要になります。近くのもの、目の前のものにピントが合わなくなるので、老眼鏡と呼ばれるものが必要なのです。皆さん、私の苦勞がわかりますか？ 年齢を重ねるごとに、度数が上がり続けています。皆さん

ん、そのことにお気づきかどうかは分かりませんが、私のは2になりました。私は、2.25や2.5に行くことを拒否します。それがプライドでなのは分かっていますが、私のは、2です。しかし、皆さん気づかれたことがありますか？ それは私だけかもしれませんが、いくつかこんな小さな文字を見て、私は…「何だ！？これを誰か読めるのか！？」それで、13歳の娘にそれを見せると、「ああ、これはね…」なので私は、「もういい！…」と。誰かに言われたことがあります。「老眼鏡を2本使えば…」ダサく見えますが、まあいいです。「一つをかけ、そこにもう一つをかけると、、」「うわ～～！！」「やっと読めるぞ！！」どんどん見えます。ここに私の描写があります。あなたがまず最初に聖書に行き、それから、聖書のレンズを通して、世界で何が起きているかを見ると、それは二重の度数のようなもので、よりはっきりと見えます。ここに問題があります。問題は、非常に多くの矛盾があることです。非常に多くの混乱があります。世界で何が起きているかを見てから、聖書に行くと、それはすでに曇っています。はっきりと見ることはできません。先に世界で何が起きているかを見て、こんな風に言えるならですが、視界を既にぼやけさせてしまったからです。ですから、まず最初に聖書に行くなら、すべてが明確な焦点で合うのです。ここでもう少し具体的に言わせてください。私がしたいのは、一歩下がることです。私はどんな議論からも、トランプという名前を削除したいと思います。そして、ゼロから始めたいと思います。すると、先入観がありません。頑なに自分の意見に固執するようなことはしません。そのすべてを取り除き、層を全部剥がし、汚い仕事をしましょう。言い方が悪いかもしれませんが、がむしゃらになりましょう。言い方がまだまずいですね。問題の核心に迫りましょう。そうすることによって、今日世界で起きている、すべてのものに関する、はるかに明確な焦点が、言わば、曇ったものと置き換わるでしょう。聖書預言を明確に理解すれば、終わりの時を描いているのが分かります。その結果、最終的にどのように収まるのかをより明確に見ることができるようになります。こんな風にいう大胆さを お許しいただきたいのですが、ネタバレ注意です。前述の「ビック3」は、全て破壊で終わります。これらは全て、異なる方法で、同じ結末にあります。実は今朝、目を覚ましたとき、このことについて考えていました。ブラック・ライブズ・マター。米国だけの事だとは、一瞬たりとも思わないでください。世界的です。皆さん、それをご存知だと願います。しかし、主にここ米国で、ブラック・ライブズ・マターは、米国を破壊しています。和平合意はどうでしょうか？ 結局のところ、イスラエルとの平和ではなくイスラエルの破壊という目標があります。そして、COVID-19/コロナウイルス。これについては後で話しますが、基本的に それ単体で、世界全体を破壊しています。それら全ては共通して破壊という結末を持っており、それがまさに、起こることとして聖書が語ることです。それでは、準備ができたなら、袖をまくって、ブラック・ライブズ・マターから始めましょう。私はまず、聖書を見たいと思います。マタイの福音書24章。終わりの時に、民族は民族に敵対して立ち上がると言われています。

#### マタイの福音書24章

**3 イエスがオリーブ山で座っておられると、弟子たちがひそかにみもとに来て言った。『お話しください。そのことはいつ起こるのですか。』**

イエスは、弟子たちが夢中になっていた、神殿の破壊を預言されたばかりです。そして、こう言って彼らを驚かせたばかりです。「あなた方が夢中になっている あの神殿が見えますか？」

**「ここで、どの石も崩されずに、ほかの石の上に残ることは決してありません。」 (マタイ 24:2)**

「何ですって？」「そのようなことが、いつ起こるのですか？」「どんな兆候があるのですか？」それが質問です。

**「あなたが来られ、世が終わる時のしるしは、どのようなものですか。」 (マタイ 24:3)**

イエスの答えに耳を傾けてください。4節、興味深いことに、彼はこう始めます。

**4 『人に惑わされないように気をつけなさい。わたしの名を名乗る者が大勢現われ、『私こそキリストだ』と言って、多くの人を惑わします。』 (マタイ 24:5)**

6 また、戦争や戦争のうわさを聞くことになりませんが、気をつけて、うろたえないようにしなさい。そういうことは必ず起こりますが、まだ終わりではありません。(マタイ 24:6)

それから彼は、7 節でこう言われます。

「民族は民族に、国は国に敵対して立ち上がり、あちこちで飢饉と地震が起こります。」(マタイ 24:7)

「しかし、これらはすべて産みの苦しみの始まりなのです。」(マタイ 24:8)

それは、より多くの頻度と強度で来ると。さて、この言葉 ” 国家 ” の原語は、国籍という考えを伴っていて、親族、民族、文化、共通の伝統によって結ばれた人々です。人種。人種的、民族的。第二テモテ 3 章 1 節～5 節で語られています。終わりの日には困難な時代が来ることを。ここにリストがあります。時間の関係上、それには触れませんが。皆さんご自身で、第二テモテ 3 章 1 節～5 節を読んでみてください。しかし、そのリストの中で、パウロは、残忍で、残虐で、裏切り者で、暴力的な人々が出てくるだろうと書いています。それは、残忍さと野蛮さを特徴とするでしょう。それが、原語の単語が意味するものです。第二テサロニケ。

「不法の秘密はすでに働いています。」(第二テサロニケ 2:7)

私たちはちょうど、第一、第二テサロニケを 節ごとに学び終えたところです。2 章 7 節から 12 節で、パウロは、携挙の後、反キリストが出現することを語っています。そして、彼が出現すると、そこには不法がはびこると。実は、7 節で彼はこう言います。「不法の秘密はすでに働いています。ただし、秘密であるのは、今引き留めている者が取り除かれる時までの事です。」その後、8 節、「その時になると、不法の者が現れますが、…」そして 9 節、「不法の者は、サタンの働きによって到来し、…」第一テモテ 4 章。私たちはちょうどその章を学び終え、現在、今日は 5 章です。しかし、ここで私たちは「終わりの日には、人々は真理を捨てて、悪魔の教えに従うようになる」と語られます。悪魔の教義です。教義という言葉は教えを意味します。私たちには、健全な教義があります。しかし、サタンにも教義があるのを ご存知でしたか。悪魔的、サタンの、悪魔の教義です。

「しかし、御霊が明らかに言われるように、後の時代になると、ある人たちは 惑わす霊と悪霊の教えとに心を奪われ、信仰から離れるようになります。」(第一テモテ 4:1)

「それは、良心が麻痺した、偽りを語る者たちの偽善によるものです。」(第一テモテ 4:2)

いいでしょう。今、私たちは聖書が何を語っているかを知り、そのうちの一握りを取り上げました。では、その聖書のレンズを通して ブラック・ライブズ・マターを見てみましょう。これが本当は何なのかについて 真実を知ることができるようにです。以前のアップデートで、いくつかの YouTube の動画について述べました。ブラック・ライブズ・マターの共同創設者が、死霊、死者の霊を呼び求めているのを認めた動画です。彼らは実際に、いけにえ・供物を捧げ、そして、彼らは基本的に これらの霊から行進命令を受けています。オンラインでご覧の方、ここにおられる皆さんも これらの動画を見ることができます。YouTube でこの動画の説明欄に、これらに関する 2 つの動画へのリンクがあります。ブラック・ライブズ・マターの共同創設者が それを認めている動画です。それは大変詳細に満ちていると付け加えておきます。どういう意味かご存知ですね？ これらは、亡くなられた愛する人たちではありません。亡くなられた愛する人たちを装う悪魔たちです。彼らは、誰かの声を聞いています。それは悪魔の声です。他にどう言えばいいのかわかりません。嘘です。嘘なのです。これらが、悪魔の教義です。神の御言葉の真理が、ブラック・ライブズ・マターが嘘であることを暴きます。それは悪魔の教義を用いた、偽りの父、悪魔自身からきたものです。欺瞞とは何でしょうか？ 私たちは第二テサロニケ 2 章を参照にしました。その時このことを学びましたが、パウロはこう続けています。神ご自身が、この強い惑わす力を送られ、この強力な欺瞞を送られるのです。そして、彼らは ” その嘘 ” を信じるのです。神が、そうされる理由は、彼らが真理を拒絶したからです。今、私は素晴らしい教会の牧師として、それは大変光栄なことですが、自分に問わなければなりません。教会の牧師や宗派の指導者が、どうしてブラック・ライブズ・マターに 賛同できるのでしょうか？ 私が辿り着いた唯一の答えは、彼らが

神の御言葉の真理を拒絶したということです。だから彼らは、嘘を信じているのです。イエスと使徒パウロが同じように、「騙されないようにしなさい。」という明確な警告を繰り返しているのは、興味深いことではないでしょうか。なぜそんなに重点を置いて、誰にも騙されないようにと仰っているのかと言うと、騙されるような欺瞞があったのではないのでしょうか。これは欺瞞です。私は、可能な限りはっきりと言いますが、それは悪魔の声です。悪魔は、盗み、殺し、破壊する事を探しています。そして、彼は成功しています。彼は、教会を破壊しています。学校を破壊しています。私は、この島で、非常によく知られている学校が、ブラック・ライブス・マターに関し、非常に正式な立場を取ったと聞きました。あなたが今オンラインで見られる、教会の牧師なら…ご覧になっている牧師方がおられるのを存じています。そのことについて感謝しています。しかし、もしあなたがブラック・ライブス・マターに賛同しているなら、あなたは騙されていて、悔い改める必要があります。それは肌 (Skin) の色の問題ではなく、罪 (Sin) の問題です。… (拍手) …なんて陰湿なんではないでしょうか。私は、そういう風に言いたいです。それは、大変、とても陰湿です。そうでしょうか？ 考えてみて下さい。ブラック・ライブス・マター！！ (黒人の命は重要だ) そうですか。私はアラブ人です。アラブ・ライブズ・マター (アラブ人の命は重要です。) 母親違いの兄弟、副牧師のマック牧師、彼は黒人です皆さんご存知かどうか分かりませんが。私たちは礼拝前に話し、祈っていました。私は彼を愛しています。しかし、ここに問題があります。ブラック・ライブズ・マター という言葉を口にするだけで、自分が何をしているかご存知ですか？ あなたは真理を否定しているのです。真理とは何でしょうか？ 真理はこれです。非常に注意深くお聞きください。今日この説教壇から熱風と共に発している、私のおしゃべりな口から出る、ほとんどのことに 耳を貸さないにしても、これだけは聞いてください、これが真理です。永遠の命こそ重要なのです！！… (拍手喝采) …キリストには区別はありません。ユダヤ人、異邦人、黒、紫、紫な方はいますか？？ いないですか…黄色、アラブ、日本人、中国人、ベトナム人、台湾人、すべての「人」。ポルトガル人、間違いました。ポルトギーゼ (ポルトガル人) の方。最終的に、本当に重要なのは永遠だけです。永遠の命が重要です。さて、2つ目に行きましょう。皆さん大丈夫ですか？ 皆さんまだおられるので、大丈夫ですね。2つ目は、アブラハム合意の調印です。前回のアップデートで取り組んだので、手短かに話します。手短かにできるか分かりませんが…再び、私たちはまず聖書を見ていきます。その後、神の御言葉が、このことについて 語っていることを通してこれを見ます。もう一度、優しく、愛情を込めて、謙虚に、お願いします。どうか先入観を全て取り除いてください。この中から、トランプという名前を取り除いて、これを見てみましょう。よろしいですか？ 客観的に、そして正直になってください。よろしいですか？ では、進みましょう。第一テサロニケ 5章3節。私たちが語られているのは、

#### 第一テサロニケ 5章

**3人々が、(2語) = 『平和だ、安全だ』と言っているとき、妊婦に産みの苦しみが臨むように、”突然の破滅” が彼らを襲います。(妊婦の陣痛が始まるように) それを逃れることは決してできません。** “平和と安全” エゼキエル 38章13節。非常に詳細です。湾岸諸国、特にサウジアラビア、それによってアラブ首長国連邦、そしてバーレーンは、彼らはロシア、イラン、トルコが率いる 連合国のイスラエル侵攻にただ抗議するだけです。彼らが、シリア経由、北から 戦利品を奪うためにイスラエルに侵入するときです。非常に興味深い詳細です。次は、ダニエル 9章27節です。。再び、すべてを取り除きます。聖書が、何が起ると語っているかを見てみましょう。ダニエル書 9章27節は、反キリストが堅い契約を結び、力強く、より素晴らしく、より壮大に、第3神殿の再建を含む、7年間の和平合意をすると 語っています。ダニエル書 8章24節~25節は、これは興味深いパラドックスですが、反キリストについてこう書いています。

#### ダニエル書 8章

**24彼は、驚くべき (素晴らしい) 破壊を行って成功し、「狡猾さによって、その手で (彼の政策によって=別の興味深い言葉です。) 欺きを成し遂げ、心は高ぶり、平気で (平和で) 多くの人を滅ぼし、…**

平和と安全は、突然の破壊で終わります。それが目指すところだからです。フットボールの喩えを使いますが、そこがエンドゾーン（タッチダウンに近づくゾーン）なのです。ゲームの終わりは破壊であり、平和ではありません。平和とは、破壊という、最終的に求めるものを 手に入れるための手段に過ぎません。それが起ころうとしているのです。それが、聖書が語ることです。よろしいですか。

第二テサロニケ 2 章 4 節と ダニエル書 9 章 27 節が語るのは、3.5 年の時点、つまり 7 年間の患難時代のど真ん中で、反キリストは、

**「すべて神と呼ばれるものに対抗し、自分を高く上げ、ついには自分こそ神であると宣言して、（再建される）神の宮に座ることになります。」（第二テサロニケ 2:4）**

それが、聖書が語っていることです。よろしいですね？ ゼカリヤ書 12 節 1 から 3 節、

「見よ。わたしはエルサレムを、その周りの あらゆる民をよろめかせる杯とする。」人々は、難儀なエルサレムの境界石、エルサレムの国境が原因で、執着し、酔いしれてしまうのです。そして、彼らはそれを持ち上げ、それを切り分けるのです。彼らは、それを 2 つに分断します。二国家解決案。そして神は、その当事者、特に 直接責任のある人々を切り刻みます。繰り返しますが、これは聖書が語ることです。よろしいですか？ 私たちは大丈夫ですか？ ありがとうございます。皆さんが、これが聖書が語っていることで、聖書預言ではこうなると語られていると理解するところ言わせてもらえるなら、諺の”木を見て森を見ず”（物事の細部にとらわれると、全体を見失う）で見えなかった木が見えるようになります。一歩下がってみると…大きな景色が見えます。「じゃあ、それが起こるのか。。そして聖書はこれが起こると言っている。」「そして、聖書は、あれも起こると言っている。」そしてそれらを全てまとめると、結論は明らかです。「聖書は、これが起こることだと語っている。」「物事を見ると…それは既に起こっているじゃないか！それは既に起こっています。ちょっと失礼します。喉にカエル (Frog) がいます。それともファラグ (Farag) でしょうか…もう一度やってみましょう。平和、安全、二国家解決案、第三神殿の再建、アラブ首長国連邦、サウジアラビア、バーレーン聞いてください。私は、頭の回転はよろしくありませんが、私には、かなり明確に思えます。あなたが一歩下がって大きな景色を見ると、これはまさに起こっていることだと 結論づけざるを得ません。それは今起こっているのです。そして、私たちに、明らかにそうなると言われているとおり、まさに明確に預言通りの方向へ向かっています。トランプを忘れて、選挙を忘れてください。私は、聖書について話しています。聖書は、これが起こると言っています。誰の手によって、そうなるかは私には関係ありません。私の聖書にはそれが起こると書かれているからです。誰でも構いません。私の聖書はそれが起こると言っているので、いつ起こるかは問題ではありません。また、私の聖書がそれが起こると語り、神が、私にこれらを理解できる知性を 与えてくださったなら、私はこのことを見て、「はい。私の聖書はこれが起こると言っています。」と言います。そして、「これを見ていると、私の聖書が語る通りのことが起こっています。」と。さて、これについて話しましょう。最後ですが、他に劣らず重要です。COVID-19/コロナウイルスという、捏造された世界的なこのパンデミックです。再度、私は、ウイルスがないと言っているのではないのを 手早く言うておきます。むしろ、私が言っているのは、世界的なパンデミックが存在しないという事です。皆さん、何が悲しいかご存知ですか？ COVID-19 を取り巻く混乱は、これまでも、今も、そして今後も、歴史の中で、最も分裂的で破壊的であり続けると思います。預言を成就しています。私個人的な信念は、COVID-19 が、この時代に終止符を打つ 人類歴史のトドメの預言だということです。3 月 29 日、「聖書預言・アップデート」で 私はコメントをしました。その後、私は思いました。主が、私にそれを言うよう 導いてくださっていたことは知っていました。しかしこの発言をした時は、「どうなるかな」と思っていました。さて、今や 10 月になろうとしていて、私は、これが終わる方法だということを これまで以上に確信しています。COVID-19/コロナウイルスによって 終わるということです。新生した信者は、携挙が終わりです。そして、神の御霊において新生していない人々は、7 年間の患難が終わりですこれが終わり方です。一緒にこれを考えてみてください。繰り返しますが、神が私たちに与えてくださった知性と、この素晴らしい脳と心に訴えたいと思います。

論理的にさえ、これを考えてほしいのです。よろしいですか？ 皆さん、こういうシナリオを想像できるでしょうか？「良かった、もう大丈夫です。」「あなたは、今仕事に戻れます。学校に戻ることができます。」「教会に戻れます。」私たちは既にそうしていますが。とにかく。「もう大丈夫です。もう消えました。」また、過去6ヶ月間の「預言アップ」でこれを詳細に説明しました。ということで、要点に入ります。まず聖書、特に「ヨハネの黙示録」に行きましょう。黙示録13章15節から18節は、反キリストが、すべての人々にあることを強要することを語っています。それは、「商品やサービス、売買するために、右手または額に刻印を受けさせる」ことです。これは、反キリストへの誓いと礼拝を伴います。先ほど話したように、自分自身を神であると宣言し、崇拝されることを要求します。すでに実施されている技術で、すべての人間が、さらに言うと、全ての人ではなく、全ての物に、デジタルIDが付くようになります。誰もが探知され、全てが探知されます。誰もが追跡され、全て追跡されます。中国の社会的評価、社会的信用について聞かれたことがあられますか？それは信用評価のようなものです。あなたが良い信用を持たれ、信用評価が高い場合は、あなたは借りることができます。信用貸しが可能です。中国では、社会的な信用評価があります。コンプライアンスに基づいて、より高い評価を得ることができます。逆らって教会に行くと、叩かれ、止められられ、点数が下がります。もし今、何かを買いに行こうとすると…「ごめんなさい。できませんよ。」「あなたは罰則を受けています。」「あなたは、社会的信用評価が十分ではありません。」「社会的信用評価を上げる必要があり、それから、再び購入することができます。」そのようになるのです。そして、技術はすでに整っています。興味深くありませんか？この今後のワクチンについて話すとき…再び、全てを取り除いてください。私は、聖書が語るることについて話しているのです。私は、まず最初に聖書に行くことによって、私たちが、今日世界で見ているものの点と点を繋げようとしています。興味深くないですか？誰もが生計を立て、かつてのような生活に戻ることが許される前に、彼らはいくつかの検証、COVID-19 ワクチンの証明を示さなければならないのは、愚かだと言ってもらっても構いません。でも、まるでこれ（聖書）が語っていることです。再度、全てを忘れてください。ゲイツをここから取り除いてください。ビル・ゲイツには、イエスが必要ですが、ファウチ博士？彼にもイエスが必要です。私は、聖書について話していて、これが起こると私たちに語っています。そして、世界で何が起きているかを見て、私は考えます。こんな感じです。私は、これがそれでなければ、何がそれなのか分かりません。黙示録17章と18章の2つは、非常に興味深いです。反キリストが、世界統一経済、世界統一政府、世界統一宗教を支配することが書かれていて、バビロンと呼ばれます。即ち、17章は宗教的なバビロンに関する預言であり、18章は政治的、経済的なバビロンに関する預言です。ご辛抱ください。黙示録にある、これら預言のレンズを通してCOVID-19/コロナウイルスを見ると、これが終わり方であるのは明らかです。COVID-19は世界の経済を破壊するだけでなく、それに伴い世界の政府も、私たちが聖書で言われているとおりに世界の宗教を統合するものになるのです。COVID-19単独で、世界経済解体を支配し、世界経済を設計しているのです。意図的に、計画通りにです。皆さん、理由をご存知ですか？もう一度言いますが、私たちはこの事柄について、非常に詳細に話してきました。私はこのことについて6ヶ月間、皆さんに叫んできました。これを全て計画した人びとが狙っているのは、彼らが”偉大なる再設定”と呼ぶものです。彼らは、全世界をリセットし、再想像し、再設定し、再起動するつもりです。そして皆さんは、キャッシュレス経済、デジタル通貨を持つことになります。コインを入手しようとしたら、コインを使うとすることは、問題なくできますか？できませんね？設計通りです。世界経済をリセットすることです。アメリカではこの景気刺激策というのがありますね？今や、589兆ドルとかそのくらいでしょうか？これは遊びのお金です。冗談ですよ？昨年、米国経済は、完全崩壊の危機に瀕していたのをご存知ですか？これは既に、回避不可能な世界的崩壊をカバーするため発足する計画内にありました。だから、彼らはそれを”偉大なる再設定”と呼びます。聖書はそれを、”大患難”と呼んでいます。始めたとき同様に締めくくります。これが真実であると言います。真実以外の何物でもありません。ですから…神よ、助けてください。「私には分からない！」と仰る方のために。「本当に何を信じていい

のかわからない... もう何が真実なのかわからない。」と仰る方。提案してもよろしいでしょうか。『何が真実なのか?』と聞く代わりに、おそらく、私たちは、「誰が真実なのか?」と聞くべきでしょう。イエスが真実です。冒頭で、私はある告白をしました。「告白する」というと、「何! ?」となりますが、そういうものではありません。私の告白は、私が一步下がらなければならなかったということです。私は、イエスと二人きりにならなければなりません。イエスが真実だからです。私は、とてもイライラする所まで来ていました。私は、とても混乱していました。私は、怒りを覚えていました。私は本当に腹を立てていました。私はいつも自分の怒りを正義の怒りとして表現しようとしています。すると主は、こう仰います。「残念ですが、あなたは何を考えているのですか? それは違います。あなたは肉の中にいるのです!」私は告白します。確かに自分は肉の中にいました。まるで、「うわ~~~~~!!!」そして、イエスが仰るのです。「おい坊や! 話をする必要がありますね。」「私が、真理です。」あっちはそう言っているし、こっちはこう言っています。イエスは、「私が真理なので、あなたに真理を話します。」

**「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれも父のみもとに行くことはできません。」 (ヨハネ 14:6)**

ヨハネの福音 18 章をご覧ください。主だけがお出来になる方法で、皆さんと分かち合いたいと思います。彼は、私の心を落ち着かせてくださいました。それは、神がそうされると、私たちがこうなるものです。「主よ。本当にすみません。」「主よ、どうもありがとうございました。私は、何を考えていたのでしょうか。」「あなたは間違っていました。」「分かります。私を許してください、主よ。」イエスが裁判にかけられる、興味深い場面です。33 節にこうあります。

#### ヨハネの福音 18 章

**33 そこで、ピラトは再び総督官邸に入り、イエスを読んで言った。『あなたはユダヤ人の王なのか。』**

**34 イエスは答えられた。『あなたは、そのことを自分で言っているのですか。それともわたしのことを、ほかの人々があなたに話したのですか。』**

**35 ピラトは答えた。『私はユダヤ人なのか。あなたの同胞と祭司長たちが、あなたを私に引き渡したのだ。あなたは何をしたのか。』**

イエスが 36 節で言われる答えをお聞きください。

**36 『わたしの国はこの世のものではありません。』もしこの世のものであったら、わたしのしもべたちが、わたしをユダヤ人に渡さないように戦ったでしょう。しかし、事実、わたしの国はこの世のものではありません。』**

私たちは、何のために戦っているのでしょうか。「立ち上がって戦うんだ!」待ってください。「何のために?」「御国のために!」「はい、しかし、それはこの世にはありません。」彼は、そうだったら、しもべたちが戦うと仰っていますが、そうではありません。お待ちください。私たちは自分たちが望む人が当選するために戦おうとしているのですか? 何かを取り返すためにですか? ごめんなさい。お許してください。私は欲しくありません。皆さんどうぞ。ここを出るまで待たなければなりません、その後はあなたのものです。私たちが行ってしまえば、、、アロハ〜!! またね〜あなたにはなりたくないわ〜それが“Kingdom Now”神学という偽教義として知られているものです。あなたがたが、地球を支配しなければならぬという「支配神学」。それはイエスがここで仰っていることとは正反対です。彼はこう仰っています。「ここに御国があるなら、それでいいでしょう。」「それなら理にかなったでしょう。」「それなら私のしもべ、私の弟子たちは戦ったでしょうが、そうではありません。」「彼らが戦わない理由を知りたいですか? なぜなら、私の御国はここにはないからです。」それが理由です。そしてこの対話の中で、イエスが一切、ご自分を守ろうとしておられないことに注目ください。彼が何をされてるかご存知ですか? 真理を話しているのです。彼が真理だからです。

**37 そこで、ピラトはイエスに言った。『それでは、あなたは王なのか。』**

「私の国」と言い終わればばかりなのだから、あなたが王だと意味ですね?



イエスは答えられた。『わたしが王であることは、あなたの言うとおりで。わたしは、(真理について証するために)生まれ、そのために世に来ました。—注意してお聞きください—“真理について証するために” 真理に属する者はみな、わたしの声に聞き従います。』」

わお！私は、そこにいた 言わば、ラクダの上のハエになりたかったです。そして、ピラトはこの有名な節を口にし、イエスにこの質問をします。「真理とは何なのか。」それは皮肉です。皮肉中の極みですね。彼は真理(イエス)に、「真理とは何なのか？」と尋ねているのです。もし私がそこにいたなら、、私がそこにいなくてよかったです。私は言ったでしょう。「おいピラト、彼が真理なのだ！」「君は、真理とは何なのかと聞くのか？ 真理とは、誰なのかを尋ねるべきだ！」「彼はすぐそこにいる！真理だ！真理！彼が真理なのだ！」私は真理だと言いましたか？ これにお気づきください。「こう言ってから、再びユダヤ人たちのところに出て行って、彼らに言った。...『私にはあの人に何の罪も認めない。...』」なんと...マタイの福音書には、彼の妻が明らかに 何度か悪夢を見たという詳細が書かれています。皆さん、ご存知でしたか？ 彼女は眠れなかったのです。彼女は夫に、「あなた、この人には関係しないでください。」と言います。ピラトは何をするのでしょうか。彼は手を洗います。非常に興味深いです。中東文化ではこう象徴されます。「私はこれについて手を洗った。あなたがたの責任であり、私ではない。」それは、別の機会に、別の説教で話します。結論はこうです。何が真理なのかではなく、誰が真理なのかと問うように、私たちは、何が来ようとしているのかに伴って、誰が来られようとしているのか問うべきです。実はその答えは、イエス・キリストの人次第です。そして、イエス・キリストの救いの知識を持っているかどうかです。ここに理由があります。来られる方は、起ころうとしているものからあなたを救ってくだされること。それが、起ころうとしています。それは、全世界に起ころうとしていて、それは、まもなく起こります。そして、あなたがイエス・キリストを知らなければ、教会が携挙されたときに、取り残されます。そして、あなたは、7年間の患難時代に 言葉に言い表せない恐怖を経験するでしょう。彼は、あなたを救うことができます。彼が救い主です。彼は、あなたの救い主であり、彼は来たるものから、あなたを救うことができます。これが福音として知られている、イエス・キリストにある救いの良い知らせ。だからこそ、私たちは預言アッブを、良い知らせ、福音、また、子供にでも分かる救いの説明、「救いのABC」で締めくくります。非常にシンプルです。福音とは何でしょうか。最初に福音について語られているのは、「テサロニケ人への手紙一章」です。なぜそれが重要なのでしょうか。使徒パウロが書いた最初の書簡が、第一テサロニケだったからです。彼は、この最初の書簡の中で、テサロニケ人に何を書いているのでしょうか。携挙についてです。そして彼は、携挙の文脈で、これが福音だと語っています。イエス・キリストは来られ、十字架につけられ、葬られ、3日目によみがえられました。そして、彼は、いつかこの世界から 私たちを連れ出すために戻ってこられます。それが良い知らせ(福音)です。彼が来られて、死なれて、葬られて、よみがえった、だけではないのは、嬉しいことではありませんか？ 良い知らせ。ちょっと待ってください。彼は戻ってくるのですか？ それとも私は一人なのですか？ 想像してください。彼は、弟子たちに話しているとき、「私は行かなければならない。」と仰いました。彼らはイエスに行って欲しくありません。彼らは、パニックです。彼は「私は行かなければなりません。」「あなたがたに、聖霊を送ります。」「しかし、私は戻ってきます。」「あなたがたは心を騒がせてはなりません。」(ヨハネ 14:27 参照)

どうやら、彼らの心は悩んでいたようです。私は、大変悩むでしょう。イエスは仰いました。「私は行かなければなりません。」「行ってしまうのですか。」「戻って来られるのですか?」「いいえ。自分の事は自分でしなさい。」私は、非常に困ります。いえ、彼は仰いました。「私は戻ってきます。あなたがたは心を騒がせてはなりません。」

「わたしの父の家には住む所がたくさんあります。 そうでなかったら、あなたがたのために場所(婚姻部屋)を用意しに行く、と言ったのでしょうか。」(ヨハネ 14:2)

「...また来て、あなたがたをわたしのもとの迎えます。 わたしがいるところに、あなたがたもいるようにするためです。」(ヨハネ 14:3)

いつですか？ どのくらいすぐですか？ 世界で何が起きているかを見れば、”すぐ”では十分ではありません。それが福音です。なぜでしょうか。なぜなら、彼は死ななければならなかったのです。なぜ、彼は死ななければならなかったのですかなぜなら、彼はあなたを愛し、あなたが彼と永遠に生きることを望んでいたからです。それが福音です。救いの良い知らせです。「救いのABC」に入る前に、私たちには、救われるために、自分がすべき事は、何もないことを前置きしたいとおもいます。私たちが何をするかではありません。イエスが既になさいました。「完了した。」（ヨハネ 19：30 参照）これは、コンマやセミコロンではなく、ピリオドで完結。「もし～～なら完了する。」ではありません。想像してください。「もし～～なら」って何ですか？「～～する時に、完了する。」ではありません。「～～する時に、」って何をすればいいのですか？「完了した。しかし、」?? 私は、いつもその”しかし”を考えてしまいます。私です。私は例外ですから。違います。完了したのです。完成。フィニート。アラビア語では、□△□。皆さん、アラビア語好きですか？ とても激しい言語です。フランス語とは違いますね。フランス語はとても滑らかですから。(Voulez-vous, voi?)フランス語で誰かを呪っていても、感謝されますよ。アラビア語で誰かを好きだと言っても、彼らは…「なんですって!？」申し訳ありません。脱線しました。完了したのです。完結です。あなたがしなければならないことは何ともありません。それでは、「救いのABC」とは何ですか？「(救いを得るために) A、B、Cとすることがあるのでは?」「1, 2, 3のように簡単な?」そうではありません。…こんなふうに考えましょう。私たちが愛情を込めて、十字架上の盗人と呼ぶ人がいます。(ルカ 23：39 参照) 私たちは、彼が本当に盗みを犯したのか分かりません。当時、盗みは十字架刑で罰せられるほどの犯罪だったのかもしれない。この二人の犯罪者は 救い主と一緒に十字架にかけられました。一人は拒絶し、もう一方は受け入れ、ただイエスを信じたのです。そして、

**「イエスよ、あなたの御国においでになるときには、わたしを思い出してください」と言った。(ルカ 23：42 新共同訳)**

そして、イエスは何と仰ったのでしょうか？「救いのABCをしてないではないか。」「バプテスマ(洗礼)を受けたのか？十字架から降りて、水の洗礼を受ければ 私はあなたを連れて行きます。」滑稽だとは思いますが、私には滑稽な賜物があるのです。それはまるで、シャワーを浴びる前にお風呂に入るようなものです。あなたが清められる前に あなたの行いを改めているようなものです。いいえ。違います。あなたがしなければならないことは何ともありません。ありのままのあなたで来てください。私にとって38年前のことです。なんということ。私たちはよく、主に人生を捧げたことを話します。しかしそれより大きな奇跡は、彼が、その人生を受け取ってくださった ということではないでしょうか。それについて考えてみてください。もし私が神で、38年前、私自身がキリストのもとに来て、私の人生を捧げたとしたら…自分が天国の御使いだったら、こう言ったと思います。「あの人を受け入れてはいけません。あの方は良くありません。」繰り返しますが、馬鹿げているのは分かっています。でも、意味はわかりますね？ あなたは、あなたのままで来てください。

**「たとえ、あなたがたの罪が 緋色のように赤くても、雪のように白くなる。」(イザヤ 1：18)**

東と西が離れているように、罪から引き離され、もう思い出されません。なぜでしょうか。私の身代わりに イエスが血を流されたからです。私は許されました。私はイエスの血潮によって救われています。それが、良い知らせです。さて、キリストのもとに来て、キリストに命を捧げ、救われるにはどうすればよいのでしょうか。自分が罪を犯したことを認めることから始まります。「私は罪を犯しました。私は罪びとです。」と。自分が罪びとであることを認めなければ、救い主には興味がありません。私は、救世主を必要としません、と。私は何も悪いことをしていません。私は悪い人間ではありません。私は誰も殺していないし。福音を誰かと分かち合うとき、よく聞かれることはありませんか。そして、あなたは彼らに質問します。「あなたは今日死ぬとしたら、天国に行かれますか？」と。彼らは大抵、「そう願っています。」というでしょう。「ほんとうに?」「なぜ?」「私は良い人だから。」「本当に?」「ええ、私は誰も殺したことがないし。」「へ～」「つまり、良い人は天国に行き、悪い人が

地獄に行く。」間違っています。地獄には善人がたくさんいて、天国には非常に悪人がたくさんいますから。私はその最前線にいるでしょう。私を清らかな目で見ないでください。皆さんも私のすぐ後ろにいるでしょう。それは、あなたが天国へ入れる基準ではありません。唯一の質問は、「イエス・キリストの人として、何をしたか」です。天であなたが申し開きをされ、起訴されるなら、有罪以外なにもないでしょう。しかし、誰かが、私のために罰則を支払ってくださったので、私は入ることができます。この認識が必要です。

### ローマ人への手紙 3 章 10 節

「正しい者はいない。一人もいない。」

ローマ人への手紙 3 章 23 節が理由、「人は皆（私たちの誰しもが）、罪を犯して 神の栄光を受けられなくなっていますが、」これは、すべてという意味で、すべて、皆が誰もが罪びとだと言っています。そして、あなたは、その”全て”の一人です。”全て”とは、全員ですので、それはあなたと私です。深い意味ですね。「人は皆、罪びとで、神の栄光を受けられなくなっています。」そして、ローマ人への手紙 6 章 23 節の 判決の段階に入ります。罰則は何ですか？ それは死刑宣告です。そうなんですか？ はい。

「罪が支払う報酬は死です。…」（ローマ 6 : 23a)

しかし、ここに良い知らせがあります。

「しかし、神の賜物は、わたしたちの 主キリスト・イエスによる永遠の命なのです。」（ローマ 6 : 23b)

贈り物は受け取るもので、あなたはそれに支払いません。あなたがそれを支払うなら、それは贈り物ではなく、購入したものです。それは贈り物なのです。なぜなら、彼がそれを支払われたからです。彼は、彼の流血の代償で あなたと私を買戻してくださったのです。そして今、彼は この贈り物を差し出してくださっています。私たちがしなければならないのは それを受け取るだけです。信じて下さい。信じて、受け取るのです。それが、B です。B : あなたの心で、イエス・キリストが主であると 神がイエスを死からよみがえらせたことを、Believe/信じる。ローマ人への手紙 10 章 9~10 節、

「…心で神がイエスを死者の中から 復活させられたと信じるなら、あなたは救われるからです。」（ローマ 10 : 9)

C : 主の御名を Call/呼び求める、Confess/告白する。言い換えれば、これは あなたがしなければならないことではありません。こうして完了したのです。そんな風に言えるのであれば、これが完了の方法です。ローマ人への手紙 10 章 9~10 節、

「口でイエスが主であると公に言い表し、心で神がイエスを死者の中から 復活させられたと信じるなら、あなたは救われるからです。」（ローマ 10 : 9)

そして、ここに理由があります。

「実に、人は心で信じて義とされ、口で公に言い表して救われるのです。」（ローマ 10 : 10)

最後に、ローマ人への手紙 10 章 13 節、ここで再度、”みんな”、”すべての人”と出てきます。つまりあなたと私に関係することです。私たちは皆その”すべて”の中にあるからです。

『主の名を呼び求める者は誰でも（すべて）救われる。』（ローマ 10 : 13)

それほど簡単なことなのです。ご起立ください。さっと一つのことをお伝えします。オンラインで見ている方々、ご存知だと願いますが、あなたがこの動画を見ているのは偶然ではありません。それは偶然ではありません。今日が、救いの日なので、神は今日ここに、あなたを導かれました。それで、あなたは、、、私はこう言う以外に方法がわかりません。永遠の命のために、あなたの人生で最も重要な決断を 先延ばしにされないことを願います。明日が保証されているわけではありません。今の状況で、それは危険なことです。。今日は救いの日です。主の名を呼びもとめ、口で告白し、心で信じ、罪の赦しを認めれば、あなたは救われるのです。祈りましょう。

お父様、ありがとうございます主よ、より確信を与える預言の御言葉に感謝します。解釈が人間のものではないということ、そして 人間が思いつくわけがないこれらのことに感謝します。私たちは、あなた

の御言葉に行くことができ、起こる前に何が起ころうとしているかをあなたが私たちに教えてください、感謝します。これらのことが起こり始めたら、未信者は信じ、信者は身を起こし、頭を上げます。わたしたちの贖いが近づいているからです。」（ルカ 21：28 参照）

主よ、私たちは、あなたが戸口にたっておられるのを、もう時間がないのを知っています。時が迫っています。この礼拝に来られている方、またオンラインでご覧になっている方で、あなたを呼び求めたことのない方の為に祈ります。今日、彼らがあなたに全てを委ね、今日が、彼らの救いの日になりますように。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

---

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7